

わが市わが町 茅ヶ崎市



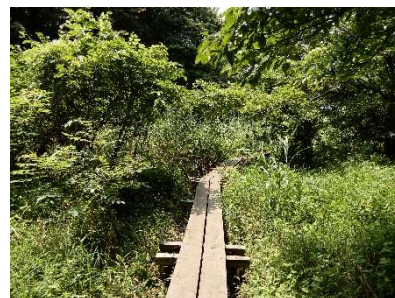
茅ヶ崎市は、神奈川県の中南部に位置し、四季を通じて温暖で、明治から昭和初期にかけて湘南有数の別荘地、保養地でした。その後、東京、横浜への交通の利便性や恵まれた環境を背景に急激な都市化が進み、人口は二十四万人を超えました。このような都市化の進行により、年々みどりは減少しています。そこで、より効果的な緑化の推進と生物多様性の保全に関する取り組みを推進するため、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画である「みどりの基本計画」と生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本計画である「生物多様性地域戦略」を統合し、「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」を平成31年3月に策定しました。この計画ではみどりの主要な機能である環境保全やレクリエーション、防災・減災、景観形成からみたみどりの配置方針を定め、人と生きものが共生するみどりのネットワークの形成を目指しています。公園や緑地、樹林等のみどりは生きものの生息・生育環境となっています。人々は、生物多様性から豊かな恩恵を受けて生活をしています。

市内の緑地を紹介します。茅ヶ崎駅の近くにある高砂緑地は、明治の有名な新派俳優である川上音二郎の別荘でした。緑地内のクロマツ林は別荘地のおもむきを残し、市民の憩いの場やレクリエーションの場として重要です。



高砂緑地

北部丘陵にある清水谷は良好な緑地を永続的に保全し、豊かなみどりを将来に継承していくことを目的として平成24年3月に特別緑地保全地区に指定しました。広さは約4.9haと小規模な谷戸ですが、昔ながらの面影を残し、数多くの動植物の生息・生育環境となっています。樹林、草地、水辺が組み合わさって良好な谷戸環境を形成している清水谷は、市民活動団体が長年にわたり、保全活動を継続してきたことにより、多様な自然環境が維持されてきました。



清水谷特別緑地保全地区

茅ヶ崎市の最北部に約35haの神奈川県立茅ヶ崎里山公園があります。里山保全エリアには茅ヶ崎で一番大きな谷戸があり、谷戸環境に依存する生きものが多く見られます。多様な生きものを育む豊かな谷戸環境をボランティアグループとともに保全しています。子供の村では広々とした空間の中で子供たちが様々な遊びができます。里山公園まつりや自然観察会などさまざまなイベントが開催されています。



神奈川県立茅ヶ崎里山公園

今後も健康的で豊かな生活を送ることができる都市環境をつくるため、人と生きものが共生するみどりのネットワークを形成するさまざまな取組を推進していきます。

(茅ヶ崎市都市部景観みどり課)

